



## I-6 LAC 特別講座 生徒たちの感想（原文そのまま、一部抜粋）

『神戸女学院大学 建石始教授の「やさしい日本語」を受講して』

・今回の授業、最初はやさしい日本語ってなんだろうと疑問に思っていたけど、意味がわかって、変換とかしてみたらいつもそんなに難しさとか気にしてなく使ってた日本語について深く考えれて、面白かったし良かったです。

・私たちはいつも日本語を使ってコミュニケーションするのでやさしい日本語について考えることはなかったけれど、今回の授業を受けることによっていつもは工夫せず使っている日本語を工夫して使うことができて良かった。またこのような講座を聞きたいと思いました。

・普段目にしたり、使っている単語は外国人にとっては理解しにくい難しい単語が多いことがわかりました。これは子供相手に話す時や、英語を話すうえで、意識しないとないと思えました。

・自分の考えと異なる事がたくさんあって聞いていて面白かったです。外国人に向けてなぜ英語じゃなくてわざわざ簡単な日本語にして書くのかわからなかったですが、難しい日本語を簡単な日本語に変える事で、英語を勉強するにあたって自分の伝えたい事をより簡単にしてどう英語に変えるかっていうのも大切なので、今日の授業はとてもいい経験になりました。

・普段はあまり気にしないし、考えたこともなかったけれど講義をどうして、日本語は確かに難しいし、実際自分が漢字の勉強をしても組みわあわせている漢字一つ一つを知らないに近い意味も導けないなど日本人でも苦戦するところなので、すごく大事なことなんだなと感じました。

周りの人と協力したりしてやってみたけれど、自分の意見とは全然違ったり、えー！そうかな？と意見を交流できて、日本語の面白さに気づくことができました！

・私の思うやさしい日本語とは、誰かを傷つけない言葉や、年齢国籍関係なくみんなが理解できる言葉のことかなと思えました。正解は後者が近くて、外国人でも理解できる日本語のことだと知ってとても納得しました。また、文をやさしい日本語に直す問題は私にとっては、いつも授業でやっていたリテリングの感覚にすごく近いなと思えました。必要な情報だけを切り取って、相手に伝えたいことだけを説明することの難しさを理解できたのでとても良い機会でした。

・英語だけではなく日本語を学ぶことで、簡単な単語を使ったりできると思った。簡単な日本語にすることで理解度が上がるし大切なことを知れる。その場合にに応じて難しさを変えていきたいと思う。自分が得意なことからどの分野にも広げられることができることを知ったので、学部はまだ決まっていなくても自分の興味があるものから探していきたいと思った。

・やさしい日本語に変換するのが意外と難しかったけれど、そのためにふりがなをつけたりスペース開けたりなど工夫してすることでやさしくできると思いました。英語を学ぶ際にも活かせるらしいなと思えました。

・今日の講演会で学んだことはやさしい言葉は簡単な言葉だけではなく、何を伝えたいかなどのことも重要だということです。いろいろな情報をたくさん書くのではなく、本当に必要な情報だけを書いた方が伝わりやすく、読んでいる方も理解がしやすいとわかりました。今日学んだことをこれから活かしていきたいです。

・日本語について考えることが今まであまりなかったので、自分が普段話している言語について少しでもこの時間で知ることができたのでよかったです。やさしい日本語について始めて知れて楽しかったです。でもやさしい日本語に変換するのが思ったよりも難しかったです。

・今回「やさしい日本語」についての授業を受けて、「やさしい」には2つの意味があることを知った。日本に住む外国人が急増している中でこのような変換作業は大事になってくるなど感じました。

・やさしい日本語講座難しかったです。友達とも相談しましたがみんなが違う意見でどれが正解かなんて分からなかったです。更に感情が入っているのは外国人からしたら難しいなんて考えたことがなかったのですごくためになりました。

・建石先生の「やさしい日本語」のお話を聞いて日本語でもやさしいという言葉に意味が2つあるからやさしい言葉というタイトルでないといけないという理由が込められていることに同じ読み方でもちがう意味を持つ言葉が印象に残りました。

・今回の特別講義では、「やさしい日本語」が外国人の方や高齢者、子どもなど、さまざまな人にとって大切なコミュニケーションの手段であることを学びました。私はこれまで、やさしい日本語は単に言葉を簡単にすることだと思っていましたが、実際は「相手の立場に立って考えること」が一番大切だと知りました。

特に印象に残ったのは、難しい言葉をそのまま使うのではなく、短い文でわかりやすく伝える工夫です。普段何気なく使っている日本語も、外国人にとっては難しい場合があると知り、もっと相手を思いやる姿勢が必要だと感じました。

今回の講義を通して、言葉は人と人をつなぐ大切な道具だと改めて実感しました。これからは自分も「伝わる日本語」を意識して使っていきたいです。

・最初の問で、ひらがなは優しいと易しいのどちらの意味も含んでいると聞いてとても驚き、感心しました。その後の問でも、日本語の難しさレベルの並び替えや、「やさしい日本語」への変換などゲーム感覚で、とても楽しく授業が受けられました。やさしい日本語への変換は最初は難しく、時間がかかってしまいましたが、最後の問では、スラスラと変換できるようになり、嬉しかったです。もっと母語の日本語について学んで、英語の勉強に繋げていきたいと思えました。